

進化するグローバル・ウーマン像

—時代の求める人材と大学キャリア教育との関わり

Global Career Development for Female University Studentas

井上 美沙子¹, 守田 美子¹, 広瀬 友久¹, 上野 優子², ゴードン リバシッジ¹, チャールズ プリブル³,
岡田 小夜子⁴, 甲斐荘 正晃⁴, 玉木 伸介⁴, 池頭 純子⁴, 小菅 奈保子⁵, 三橋 美穂⁶
¹短期大学部英文科, ²人間関係学部人間福祉学科, ³文学部コミュニケーション学科,
⁴短期大学部家政科, ⁵人間文化研究科言語文化学専攻, ⁶大妻中学高等学校

キーワード：グローバル、キャリア教育、女子大生

1. 研究の目的

21世紀の現代社会において、働く女性には国際性やグローバルな視野がますます求められているようになってきている。一方で、大学におけるキャリア教育や英語運用能力育成を含む国際教育は必ずしも時代に追いついていないように思われる。本プロジェクトでは、企業の求めるグローバル・ウーマン像を明らかにすると共に、大学カリキュラムの改善点を指摘したり、本学の教育理念である「関係的自立」との関係性を明らかにすることで、すぐれた人材を輩出して社会に貢献することに寄与することを目指す。

2. 活動実施報告

(1) 打ち合わせ

第1回	7月26日(火)	16:30~18:30
第2回	9月20日(火)	16:30~18:00
第3回	10月25日(火)	16:30~18:00
第4回	11月22日(火)	16:30~17:30
第5回	1月10日(火)	16:30~18:00
第6回	1月26日(木)	13:40~14:30
第7回	2月1日(水)	14:30~18:00
第8回	2月5日(日)	16:30~18:30
第9回	2月7日(火)	11:00~17:30
第10回	2月27日(月)	16:00~17:30
第11回	3月17日(土)	13:00~17:00
第12回	3月28日(水)	13:00~18:00

(2) 企業インタビュー

12月12日(月)	大正製薬
2月6日(月)	シジシージャパン
2月6日(月)	株式会社レリアン
2月7日(火)	京葉ガス
2月7日(火)	大東京信用組合
2月7日(火)	ひかりのくに
2月8日(水)	信金中金
2月9日(木)	多摩信用金庫
2月9日(木)	ディーエムエス
2月9日(木)	(株)ロックフィールド
2月14日(火)	明治産業
2月21日(火)	吉野工業所
2月21日(火)	ヒロセ電機(株)
2月24日(金)	株式会社永谷園
2月24日(金)	(株)三越伊勢丹ヒューマンソリューションズ

(3) プロジェクト講演会

第1回	11月5日(土)	伊庭野 基明氏
第2回	1月19日(木)	内山 昌秋氏 (詳細は後述)

(4) セミナー参加

2月27日(月) 18:20~19:20
日本IBM人事リクルートメント部長
渡辺 広樹氏
「企業が求める人材とは」
於 東京ステーションコンフェランス

(5) その他

- 1) 英国大使館合唱団東日本大震災復興チャリティ
コンサート
6月4日(土) 17:30~19:00
於 大妻講堂
- 2) 現役英国大学生と大妻中学高等学校生徒との
国際交流会
9月8日(木) 16:00~17:30
於 大妻中学高等学校
ジュリアン・グレゴリー氏
(ケンブリッジ大学学生)
ジョン・フォスター氏
(オックスフォード大学学生)
- 3) 講演会 「英国の学生生活について」
コリン・ギアリィ氏
(オックスフォード大学)
11月25日(金) 16:00~17:30
於 大妻中学高等学校

3. 研究目標の達成状況

今年度は、企業の求める短大生像の構築に主眼を置くことに決めた。企業インタビューのための準備として、インタビュー項目の検討および決定、インタビュー先企業の選定、インタビュー実施を行った。

インタビューは前記 15 社の人事採用担当者に対して実施した。各企業に勤めている短大卒女子社員が同社の 4 大卒女子社員と比べて、基礎学力、コミュニケーション力、適正、能力等についてどのような差異があるかというテーマで現場の声を収集した。第一線の担当者の意見は、性格的に見て「素直さ」は短大のほうが上であるが、反面「人を悪く見る」ことができない人が多く、営業などで苦勞する場合があるなど、具体的で参考になるものだった。

同時にプロジェクト講演会を 2 回開催し、グローバル化社会においてどのような人材がこれから求められるかということについて、意見交換を行った。

またセミナー等にも参加し、社会に求められる人材を育成するために必要なキャリア教育についての情報収集にも努めた。

4. まとめと今後の課題

今回実施した企業の人事採用担当者へのインタビューの内容は、学生を送り出す立場の学校側として有用なものだった。

働く女性を育成する機関として、働く場からの社員への要求を知ることは重要なことである。しかし、大学教育界が変化のスピードの速いビジネス社会から、ともすれば乖離しがちなことは事実である。

そうした意味で、今回のような現場の声を間近に聴く機会は、今後の教育の方向性を探り、カリキュラムの再構築を行う意味で意義の大きなものであった。

今後はインタビュー結果を早急に分析・評価し、その中から企業の求める短大生像を描いて、そのための教育方法、カリキュラムを検討する。

求められる短大生像は単一の人間像ではなく、企業が求めるいくつかの属性を抽出し、その属性を満たす像、すなわちペルソナ（マーケティングにおける典型的な人物のイメージ像）を作り上げる予定である。

ペルソナを提示することによって、学生は自分の適性になかった職種のイメージを具体的に持つことができる。それは、学生の勉学のモチベーションを刺激し、学生が主体的にキャリア教育の取り組む原動力となりうる。

5. 研究成果

2) その他（公開講座・研究会、特許、受賞、マスコミ発表等）

（公開講座・研究会）

- [1] 「グローバル社会を日本人はどう生きるか？
ー女子大生が目指すもの」
11月5日(土) 13:00~14:30
グローバルキャリアカウンセラー
伊庭野 基明氏
- [2] 「今、日本を取り巻くビジネスの実情と社会が
求めている人間像とは！」
1月19日(木) 10:40~12:10
SBI ネットシステムズ他 代表取締役社長
内山 昌秋氏